

第3学年 道徳科（人権）学習指導案

1 主題 誇りうる生き方を求めて

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

今もなお残っている部落差別の現状を知り、差別解消のために自分自身が行動していこうとする意欲や態度を育てる。

4 指導計画

識字学級について考えよう

4 時間

「手紙～タヤけがうつくしい～」 （「わたしの願い」道徳科）2 時間

「雨の指もじ」 （「動画教材」道徳科）2 時間

識字学級で学ぶ人々のたくましい生き方を通して、部落差別に対する憤りを持ち、差別解消に向け、積極的に行動しようとする態度を育てる。

講演会

「うたや人から学ぶ人権」

西本篤人さん

講話やうたから識字学級生の思いを知り、差別によって文字を奪われたことに対して憤りをもたせ、たくましい生き方について考えさせる。

就職差別について考えよう

4 時間

「部落地名総鑑」 （「わたしの願い」道徳科）1 時間

「許せない就職差別」 （「わたしの願い」道徳科）1 時間

「就職差別につながるとされる14項目」

（「わたしの願い」総合的な学習の時間）2 時間

就職差別についての14項目を学習し、社用紙の問題点を考えさせる。14項目の質問がなぜいけないのかという理由を理解させ、すべての人がそれぞれの能力や適性に応じた進路の希望が実現できるよう、就職差別の撤廃と公正な採用選考の実現をめざす態度を育てる。

結婚差別について考えよう

4 時間

「結婚のダイヤモンドランキング」 （「自作資料」学級活動）1 時間

「あなたに伝えたいこと」 （「動画教材」道徳科）3 時間

同和問題は知識として知っているだけでは解決しない。差別することがいけないとわかっていても直接自分や家族が当事者になったときに正しい判断ができなくなる場合がある。あらゆる差別をなくすという強い気持ちを育てる。

意見発表会・人権集会

様々な人権問題をテーマにした意見発表を聞き、他の人の意見を受けて生徒の人権意識を高めさせる。

インターネットと同和問題について考えよう

3 時間

「インターネットと同和問題」 （「動画教材」学級活動）2 時間

「誰もが幸せに生きられる社会にするために」 （道徳科）1 時間（本時）

動画教材を使い、現在インターネット上にある同和問題について考える。人権侵害にあたる書き込みや投稿に対して、これからの自分がどう行動するかを考えさせる。これまで学習してきたことを通して、自分たちにできることを考え、誰もが幸せに生きられる社会、学校、教室をつくることを実現させるため、進んで行動する意欲と態度を育てる。

5 本時の学習

(1) 目 標

人権侵害にあたる書き込みの実状を通して、部落差別に対する憤りをもち、差別解消に向け、積極的に行動しようとする意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ 基本的人権の尊重

個人人権課題名 同和問題

ねらいとする道徳的価値	C－(11) 公正 公平 社会正義
-------------	-------------------

(3) 展 開

学 習 活 動	指導上の留意点
1 これまでの学習を振り返る。	○これまでの学習から部落差別に対する憤りをもたせる。
誰もが幸せに生きられる社会にするために、何ができるだろう。	
2 これまでに学んだことを、自分の生き方や生活にどう生かしていくかを考え、発表する。	○自分にできることは何かを考えさせ、自分の思いを発表し、全体で共有させる。
3 本時のまとめをする。	○差別を他人事としない生き方が、互いの人権を守ることにつながることに気付かせる。 ①②

6 評価

・差別解消に向け、積極的に行動しようとする意欲を高めることができたか。

(価値的・態度的側面) ①

・友達の意見を受け止め、自分の考えや思いを伝えることができたか。

(技能的側面) ②